

令和4年度 第3回 鳴門高等学校学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和5年2月8日(火) 10時から12時まで

2 場 所 鳴門高等学校 視聴覚室

3 会 議

(1) 開会

(2) 学校長挨拶

本校の現状について

- ・先日の高校入試(育成型選抜)において、初めて「阿波踊り」で募集したことを報告した。
- ・前回(第2回学校運営協議会・参観授業等)いただいた感想・意見についての総括と委員の方々へのお礼の言葉を申し上げた。

(3) 令和4年度の地域との連携について

「令和4年度鳴門高校学校運営協議会の取組および鳴門市など地域との連携」について説明した。

また、2月13日(月)・20日(月)に実施する公開授業(総合的な探究の時間の生徒発表会)についての案内をした。

- ・本校生が市の活性化策など提言をまとめた意見書を市長と市議会議長に提出したことに対して、「市長への提言、若い人が声を上げることで聞いてもらえることがある。柔軟な考えが市の取組に反映され、街づくりにつながると良い。」とのご感想をいただいた。

(4) 協議

ア 令和4年度学校評価総括評価表について(全日制・定時制)

① 学校評価総括評価表(全日制)の学校関係者評価について、事務局から説明し質疑応答を行った。

- ・「保護者だけでなく、生徒が鳴門高校に進学して良かったと思う割合を記載しておくのが良いのではないか。」「また、鳴門の子が鳴門教育大学に進学して、鳴門で教職に就くという方向性を出しても良いのではないか。」というご意見に対して、「今後検討する。また本校は鳴門教育大学と連携しているので、鳴門高校から教員を目指すことにも取り組みたい。」と回答した。
- ・「鳴門高校から国公立大学への進学者を増やして欲しい。そうすれば鳴門に住む人が増える。」とのご意見に対して、「中学生に入学したいと思われるような魅力ある学校づくりを目指したい。」と回答した。
- ・「中学校でも教員(特に中堅・ベテラン)のICTの活用・スキル向上に課題がある。何か良いスキルを上げる方策はあるか。」との質問に対して、相互参観授業など本校の取組の状況や課題であるWi-Fi環境の整備の進展等について説明した。
- ・「SNSでのトラブルが増えているが、SNSに対してどのような指導をしているか。」という質問に対して、1年次でのSNS講習会やNOスマホ・デーなどの取組の事例をあげて説明をした。
- ・「近所から、自転車通行のマナーについて苦情が入ってくる。生徒の通学に注意して欲しい。鳴門市青少年センターと連携すると良い。」とのご意見に対して、「数値に示しているように苦情の電話は減少している。また定期的に立哨指導も行っている。」と回答した。また道路交通法の改正でのヘルメット着用について、来年度どのように取り組むかという新しい課題についての説明をした。

- ・教育相談の重要性，特にヤングケアラーについての把握についてのご意見に対して，本校におけるスクールカウンセラーによる相談体制などの取組状況について説明した。
- ・育成型選抜入試の実績重視枠「阿波おどり」についての質問に対して，その実施の概要について回答した。
- ・「感染対策として5月から5類への移行によりマスク着用の基準が変わるが，今後どのような対策を考えているか。」との質問に対し，12月に実施した修学旅行は感染対策の徹底がなされ，感染者も出なかった成功事例を説明し，「ある程度の生徒は，マスク・手指消毒の感染予防対策を続けるだろう。」と回答した。
- ・読書活動の推進について，「スマホの普及により紙媒体で読むことが減少してきたが，紙の良いところもある。」とのご意見をいただいた。
- ・「開かれ信頼される学校づくりの推進について，幅広い取組がなされているので，総合評価Bは低いのではないかと。また総合的な探究の時間を含めてよく連携ができていますので総合評価Aではないかと。」との再評価の提案をいただいた。

② 学校評価総括評価表(定時制)の学校関係者評価について，事務局から説明し質疑応答を行った。

- ・「生活習慣改善プロジェクトにおける生活リズムチェックの回数をもっと増やしても良いのではないかと。また資格取得対策をもっと積極的にやる方が良い。」とのご意見について，回数を増やすことを懸案事項とすること，また定時制の多い求人数の状況や資格の取得が出口に結びついている現状について説明した。

イ 令和4年度の地域との連携について

事務局より，委員の皆様にも次年度も引き続き委員としての協力をお願いした。

ウ 各委員からの提言等について

- ・次年度は，現在取り組んでいることの方角性を揃える方が良いのではないかと。鳴門高校のグランドデザインである「夢をかたちに」に向けて，各課が何を重点目標にするとよいかを考えると良いと思う。「夢をかたちに」を実行するために，進路指導課では評価指標を「夢をかたちにできる指標」にし，進路志望を早く明確にする。そして明確になっているか，また，さらに実現できたかどうかをアンケートにより計る。3年次生の年度末のアンケートで聞いても良いのではないかと。また図書課では「夢をかたちに」するため，進路希望を明確にするための本を揃えるとよい。
- ・自己評価にもっとAを増やして欲しい。卒業生が良かったと思える鳴門高校にして欲しい。
- ・ラグビー部の連携では，ラグビーを通して子どもたちは成長している。ラグビー部との関係をこれからも続けていきたい。
- ・鳴門市の若手の人口の問題が気になる。県の人口も減り，難しい問題である。卒業生が良かったと思えるような学校になって欲しい。
- ・生徒が変わってきている。今後も生徒指導をきっちりとやり，外へのアピールもしっかり行う。「まなぼうさい」，「総合的な探究の時間」での鳴門市との連携や「夢をかたちに」の明文化，鳴門高校がどこに向かおうとしているのかをアピールすることが大切である。

(5) その他

(6) 閉会